

人口構造や地域社会の変化に伴い、福祉ニーズが多様化・複雑化し、既存の福祉制度だけでは対応しきれない課題が生じています。

こうした状況の中、社会福祉法人は、福祉サービスの主たる担い手として、安定的に質の高いサービス提供を継続するとともに、社会福祉法人の本旨に基づき、経営の透明性を確保しながら、地域の拠点として地域ニーズに率先して対応していく地域への公益的な活動展開が、より明確に求められてきています。

徳島県社会福祉協議会では、県内の民生委員をはじめとした地域の様々な関係者にご協力いただき、地域の現状把握と社会福祉法人による地域における新たな取り組みの創設や公益活動への期待についてアンケート調査を実施するとともに、本会に事務局を置く福祉関係団体等によるネットワーク会議を開催し、県域の多様な機関と協働体制の推進について検討を進めています。



社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会  
 770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内  
 tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250  
 e-mail: info@e-fukushi.jp http://e-fukushi.ict-tokushima.jp/



とくしま県民活動プラザ  
 770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地  
 沖洲マリナーミナルビル1F  
 tel: 088-664-8211 fax: 088-664-5345  
 e-mail: info@plaza-tokushima.com  
 http://www.plaza-tokushima.com  
 http://www.tokuvvc.jp



ひと34号 march.2016 CONTENTS

特集 NPO法人 K-Friends  
 からだ「元気」!! ころ「健康」!! そして「笑顔」!!

ひと イノベーション  
 とくしま発達しあわせネット  
 赤壁 省吾さん

シリーズ・このひとから  
 文化事業を通して豊かなまちに  
 NPO法人夢ホール市民協議会夢つくりあなん  
 理事/事務担当 林 翠さん  
 大切にしたい出会い  
 美馬 真奈美さん

ハートリレー  
 No.34 黒川さんから岩藤さんへ

New face NPO法人 フェローシップア7  
 小橋 千映さん

## 社会福祉法人制度改革 求められる地域社会への貢献

各種別協議会等  
 ネットワーク会議の開催



徳島県社会福祉法人セミナー  
 徳島県市町村社協会長会議



コミュニティソーシャルワーカー  
 養成研修の実施



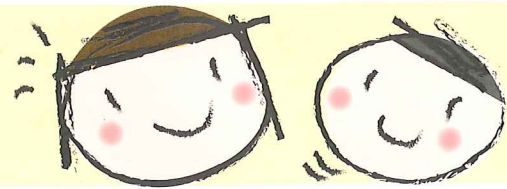
## NPO法人 K-Friends

K-Friendsは、総合型地域スポーツクラブとしては、県内で24番目に設立、6番目にNPO法人化されました。生涯スポーツの拡大と地域活性化のため、町にも県にも広がっていきこうとしている、今のK-Friendsのみさんの思いや具体的な活動を紹介します。



からだ「元気」!! ころこ「健康」!! そして「笑顔」!!

# NPO法人 K-Friends



## チームワークの大切さ

理事長 河野 敬三さん

笑顔が大事! どんな人でも笑顔が一番素敵だと思うので、笑顔になれるよう明るく楽しくをモットーにクラブのチームワークを大切にしています。

町内にいながら知らない人が多く、最初は理事同士も知らない、そんなスタートでした。活動を通していろいろな人と知り合うことができるし、参加者同士が仲良くなる。そういう意味でいろいろな人が活動できる教室を開いています。昨年11月には勝浦町民体育大会が9年ぶりに復活しました。K-Friends が主になってそれができたのは、つながりがあったからだと思うし、町の大きな行事をする時の原動力や発信源になっているからです。これからのK-Friendsは、今の延長で会員とのコミュニケーションやチームワークを一番大切にしていきたいと思っています。そのためにも、理事会を大切に話し合いの中から、前向きでいい意見を取り入れていく、また、会員の意見にも耳を傾けながら、クラブと地域を盛り上げていきたいと思っています。



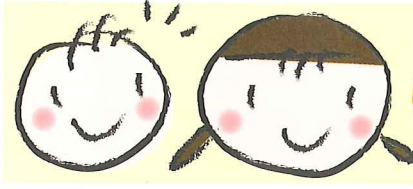
## 有言実行(言うことで動く)

副理事長 秋成 心みよさん

クラブに所属して一番良かったことは、孫と一緒に活動できたということ、そして、仲間がたくさんできたことです。組織としての広がりとともに今まで知らなかったことを知るなど、他では経験できないことをさせてもらっています。

元行政マンであり現在婦人会や民生委員をしているので、クラブや人をつないでいく役割を担っています。そんな形で地域に恩返しをしたいと思っています。私の元気のパワーは、有言実行です。言うことはすなわち自分が動くということですから。言ったことはすぐに行動に移すことを続けてきました。ありがたいことに、伝えるチャンスを与えてくれる、人との出会いもチャンス。いろいろな事を与えてくれたチャンスだと受け止めて、地域貢献していくことが大切だと思います。

クラブが信頼を得るには10年かかると思うので、これからのK-Friendsはつながりの中、みんなで考えながら、今までと変わらず活発でいられるようにしていきたいです。



## 総合型地域スポーツクラブとは

地域の人々に年齢・興味・関心・技術技能レベル等に応じた様々なスポーツの機会を提供する『多目的』『多世代』『多志向』のスポーツクラブ

## 場づくりの楽しさ

理事 廣瀬 芳枝さん

最近では、婚活事業で裏方的な役割を主となってやっています。若い子が集まることで何かが生まれていく。1回目はいつもの勝浦とはまったく違う空気が衝撃的で新鮮でした。つながりができていくのを見るのは面白いし、イベントの楽しさはそこにあると思います。自分が変わらないから、大人は成長しないものだと思い込んでいた私ですが、大人が少しずつ変わっていく姿が見えたのは大きな発見だったし、イベントをするたびに、大切な何かを感じることが出来ます。K-Friendsは、異業種交流会のようなものです。いろいろな分野の達人が理事として参加してくれるようになり、それぞれの人が力を発揮できる場となっています。そんなK-Friendsを継続させていくには、少ない予算でこれから何をしていくか。お金がなくても、縮小傾向にならないように、できることは何なのかを見つけてやっていきたいと思っています。



## 今、見えるようになったこと

理事 大久保 尚勇さん

勝浦町には競技型スポーツ少年団が少なく、私も競技型の監督をしていました。でも、競技型独特の指導方法に疑問がでてきて…そんなきっかけもあり、いろいろな施設もある、道具もある環境のなかで、小学校低学年から高学年くらいまでの間に、まずはスポーツを好きになってほしいという思いから始まったのがジュニアアトタルスポーツ教室です。

自分が言われて嫌なことは言わない、思いやりの心を持つ、あいさつができるなど当たり前のことですが、スポーツをするうえで一番大切にしていることです。K-Friendsのいいところは、総合型だということ。将来的には偏りなく、いろいろな分野があって、K-Friendsに行くと全部のことが出来るよというようになっていたんです。そして、町の中心になって発信していけたらと思います。

『こどもの目線に立って』、今、K-Friendsを通してスポーツ少年団にいたころには見えなかったたくさんのことが見えるようになっていきます。



## こんな活動をやってます!



### 町と地域団体との連携

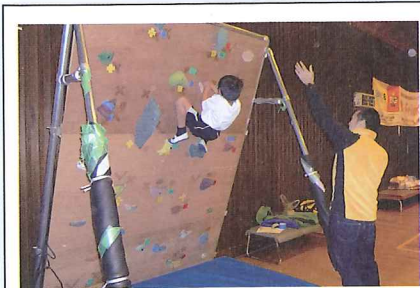
- ・ウォーキング
- ・夏祭り
- ・さくらまつり



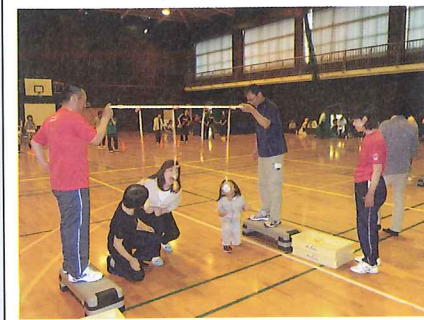
さくらまつり

### 県との連携

- ・地域活性創出事業徳島モテル実施 フォトオリエンテーリング
- ・ジュニアスポーツ力向上事業 スポーツ競技団体からの指導者派遣
- ・Love&Fan
- ・軽トラ市



学校ではできないボルダリング&アクロバット体験



ファミリースポーツフェスティバル



あめご釣り

## 勝浦町・教育委員会からの委託事業

- ・町民体育大会
- ・婚活事業



事務局スタッフのみなさん



作品を作って(書道教室)町のイベントに参加

クラブの活動は、スポーツ振興くじの助成を受けています。



## NPO法人 K-Friends

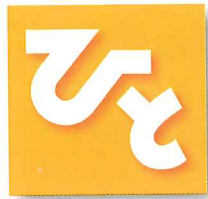
理事長 河野 敬三

〒771-4037  
 勝浦町大字三深字古川1-1勝浦町民体育館内  
 TEL : 0885-42-3671  
 E-mail : kfriends@27.fan-site.net  
 URL : http://kfriends.fan-site.net/index.html

ある日の理事会から始まった今回の取材。知っているようで知らなかった理事の方々の顔やアツい思いに出会えました。「やってきて良かったことは…いろんな人とのつながりができたこと」みなさんの口から出てきた言葉でした。“私、ここにいられて良かったなあ”とすごく感じ、ここにいられることへの感謝と私の中でも、アツい思いが湧き上がってきた時間でした。『出逢いに感謝!! つながりに感謝!!』改めてそう思いながら、次の活動を心待ちにするのでした。

(日下 睦子)





# イノベーション!

「発達障がいのある子どもたちが集まってくれば良いな、いろんな人たちがつながっていけると良いな。」そう話して下さったのは、今回お話を伺った“とくしま発達しあわせネット”の赤壁省吾さんです。

赤壁さんは言語聴覚士として病院や施設で働く一方、職場だけではできに限りがあるため、もっと子どもたちにいろんなことをやってあげたい、喜んでもらいたい、そんな思いから“とくしま発達しあわせネット”を立ち上げました。

活動の中で、最も力を入れていることが「発達支援キッズサッカー教室」です。赤壁さんは子どもの頃からサッカー好きだったこともあり、子どもたちはもちろん、保護者の方も一緒に盛り上がるようなサッカー教室をやりたい!と考えていました。しかし、発達障がいのある子どもたちにサッカーは難しいのでは?と

言う声もあったそうです。ところが、赤壁さんは、難しくするのも簡単にするのも自分次第なのだとおっしゃいます。それはまさに「イノベーション」と言えると思います。例えば、重度の障がいのある子どもにボールを高く蹴って、「花火!」と叫ぶと、子どもたちが「ワー!!」と嬉しそうに集まってきます。またシュートを決めることができるようになった子どもはすごく喜び、そのことをエネルギーへと変えていくのです。赤壁さんにとって、なにより大切なことは「みんなが楽しめる」ということ。子どもが成長する中で、親子の時間の共有はとても大切で、そこから会話が 늘어나 様々なストーリーが生まれてきます。今ではお父さんの参加も増え、子どもたちと一緒に盛り上がっている姿を見るのが嬉しいと話してくださいました。

みなさんは、サッカーにグリーンカードがあることをご存知ですか?それは、ケガをした選手への思いやり(リスペクト)やフェアプレーに対して出されるカードなのです。赤壁さんのサッカー教室では、グリーンカードの代わりに子どもたちにシールを渡しています。試合の勝敗だけではなく、サッカーを通じて「リスペクト」という言葉の概念も伝えています。このような



とくしま発達しあわせネット

あか かわ しょう ご  
代表 赤壁 省吾さん

TEL: 090-3787-0940  
URL: <http://tokushimashiawase.wix.com/tokushima>  
Facebook: <https://www.facebook.com/TokushimaFaDashiawasetto>  
E-mail: hattatu.shiawase.net@gmail.com

ことも、とくしま発達しあわせネットの輪が広がっていく魅力なのだと感じました。

他にも、講演会や発達障がい・自閉症への理解を深めるためのドキュメンタリー映画の上映など様々なことを行っています。また、4月2日から1週間は、「世界自閉症啓発デー」です。徳島でも発達障がいを知ってもらう好機であるため、期間中は徳島市中心部の阿波銀行住友ビルのブルーライトアップを行っています。「今、関わっている子どもたちが10年後も、この期間、この場所にいるから、と彼らの子どもたちを連れてきてくれる、そんな場所になればいいな」と話してくださいました。もうすぐ活動10年目を迎えますが、活動を継続することは簡単なことではありません。しかし、赤壁さんの子どもたちを思う温かい気持ち、そして人と人とのつながりが、この活動の軌跡を描いているのではないのでしょうか。

活動の中で大切にしているのは「続けること、長く活動自体が有り続けること」。“とくしま発達しあわせネット”からは、今日も子どもたちの楽しそうな笑い声が聞こえてきます。

(向井 亜里紗)

## 文化事業を通して豊かなまちに

NPO法人夢ホール市民協議会夢つくりあなん 理事/事務担当 林 翠 はやし みどり

「ホールスタッフの対応が良く、楽しく過ごせました。」というお客様の声をいただきます。ホールスタッフとは、チケットのもし取りや、会場案内など催し物の際にお客様をお迎えする係りのこと。当会では市民のボランティアが担当しています。毎年12月に「夢ホールコンサート」の開催に合わせ、「ホールボランティア研修・会館ツアー付」を実施し、スキルアップを図るとともに、ホールスタッフ業務を体験いただいています。お客様として、出演者としてまたスタッフとして、会館へ足を運ぶ理由は多い



ホールボランティア研修

方がよいと考え、この役割を市民が担うことを提案してきました。それぞれの立場を体験することで、お互いの気持ちがわかり、マナーやおもてなし力の向上も期待できます。

最近では「文化のボランティア」や「ホールボランティア」として、各地の公立文化施設で市民の活躍が増えました。市民ならばこそその家庭的で温かな対応に、先のようなお褒めの言葉をいただけたのでしょうか。

温かなスタッフがお迎えします。4月23日はヴァイオリンとチェロの演奏会を開催します。ぜひぜひご来場いただき、スタッフにお声掛けくださいませ。

林 翠

大阪生まれ。阿南に来てからは阿南那賀子ども劇場、徳島県子ども劇場協議会、阿南市国際交流協会等文化系市民団体が事務を担当。



## 大切にしたい出会い

今年度から牟岐町社会福祉協議会で働くことになりました。ボランティアセンターでは、ボランティア活動の調整、ふれあいサロン、リサイクル活動、炊き出し訓練、小学校で行われる高齢者疑似体験授業やゴミ0活動のお手伝いなどを行うなかで、いろんな出会いがあります。

初めて高齢者疑似体験授業に参加した時、子どもたちはとても素直に、一生懸命取り組んでくれました。体験をしながら「牟岐はお年寄り多いけん、町で困ってたら助けたげなあかんよね」と高齢者を思いやる言葉がたくさんあり、温かい気持ちで体験を終えることができました。

また、サロンでは、最初のうちは参加して下さる方の顔と名前を覚えるのに必死で、あっという間に時間が過ぎていきました。今では顔と名前も一致し、サロンに参加して下さる方も私の顔を覚えてくれ、町で会えば声をかけてくれるようになりました。あるサロンでは年配の方が「向こう三軒両隣いうてな。



サロンでミュージックケア



子どもたちと楽しく交流

牟岐町社会福祉協議会 美馬 真奈美 みま まなみ

昔はたくさん家があってよく声を掛け合っていた。お互い助け合って生活していたんですよ。」とさみしそうに話されていました。今では人も減りこのようなご近所づきあいも薄れています。昔の牟岐を取り戻すためにも、子どもも高齢者も声を掛け合い、支え合い、住みやすい町にしていなくてははいけません。まだまだ微力ですが、笑顔で地域福祉に貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。





## イベントガイド

### 平成28年度 貸メールボックス・ロッカー利用団体募集!

プラザ内のロッカーやメールボックスが使えることをご存知ですか?  
会議や作業に使う資料・用紙・文具等を入れておけるロッカー!!

無料で  
使用できます!

各団体宛のチラシを配布できるメールボックス!!

プラザに団体登録して申請すれば、1年間無料で使用していただけます。1年ごとの更新手続きが必要です。

※平成27年度利用団体さんは3月末で期限が切れますので、それまでに更新手続きを行ってください。



貸しメールボックス 貸しロッカー

### ご寄付ありがとうございます。

「ゆめバンクとくしま」では、皆様方のご寄付により、県内社会貢献活動団体への助成を行っており、平成27年度は10団体に助成させていただきました。

なお、本年度は、2月末現在、100件、総額1,717,180円のご寄付をいただいております。引き続き、「ゆめバンクとくしま」へのご寄付をよろしくお願いいたします。

※「ゆめバンクとくしま」へのご寄付は、税金の還付等、税制上の優遇措置の適用を受けることができます。詳しくは、とくしま県民活動プラザへお問い合わせください。

※助成先の団体や活動内容は、「ゆめバンクとくしま」ウェブサイトにて公開しております。

### 徳島県指定NPO法人制度が始まりました

県内のNPO法人は、県の条例で指定されることにより、指定NPO法人となることができるようになりました。(平成28年1月1日から) 指定NPO法人になれば、その団体への寄附者は個人県民税の控除を受けることができます。また、認定NPO法人になるための要件も緩和されます。

詳しくは、徳島県県民環境政策課協働推進担当(088-621-2023)または、

とくしま県民活動プラザ  
(088-664-8211)  
までお問い合わせください。



## ハートリレー

No.34 黒川さんから岩藤さんへ



グリーンケア エディ いわふじ  
代表 岩藤 のり子さん  
ともに寄り添う。

グリーンケアとは、子ども、配偶者、親、友人など大切な人を亡くし、大きな悲嘆(グリーフ)に襲われている人に対するケアサポートを総称しています。

岩藤さんは、看護師として長年、現場で働きながら、病を抱えていらっしゃる患者さんはもちろんですが、そのご家族や、患者さんを支える方々に、寄り添いたくさんの思いの詰まった時間を過ごされています。

そして、大切な人が旅立ったあとも、見送った方々が集いながら、いろんな思いを話したり聞いたり共感する場所が必要だと感じ、このグリーンケア エディの活動を始められました。岩藤さんご自身がお父さんを看取られた経験から感じた思いもそこには込められているような気がします。

グリーンケア エディは、毎月の定例会のほか、半年に一度、誰でも気軽に立ち寄って欲しいと、ワークショップなどの催しも企画されています。

また、とくしま朗読サロン「和」も主催し、介護施設などで定期的に朗読の会を開催されるなど、さまざまな環境にある方へ向けた活動を行っています。公私ともに、お忙しい岩藤さん。そのパワフルなエネルギーは、マラソンや山登りから生まれるそうです。去年は7回もフルマラソンにも出場するなど、その行動力に脱帽です。

けれど、その行動力があるからこそ、切ない気持ちを抱えた方たちへ向けた、優しい、そして力強い時間や場所を作ることができるのだと思います。

文・黒川 誠也



## New face NPO法人 フェロシップ77

### 設立について

子どもは4~5歳になると自立心が芽生えてきます。一方で、お母さんは自己主張が強くなっていく我が子との関係に戸惑ったり、けがを心配するあまり自分が手を出してしまったりと、思い通りにならない子育てに不安や悩みがたくさんあります。その悩みを気軽に相談できる場所やきっかけを作りたいという想いで、法人を設立しました。

### 現在の主な活動

毎月1回、徳島市新町ボードウォークで行われているとくしまマルシェの「キッズパーク」で、月替わりの遊び場作りをしています。ダンボールハウスを作ったり壊したり、色粘土を使った小物づくりや大人からけん玉を教わるなど。自由に作品を作ることは、子どもたちの考える力や達成感を育みます。私たちは、イベントに来てくれた親子に「いらっしゃい」ではなく「おはよう」や「こんにちは」との声を大切にしています。それは、挨拶が地域の絆を取り戻すきっかけになることに気付いてほしいからです。

また新小学1年生を対象に、子ども110番の家を回ってスタンプを集める「通学路のスタンプラリー」を計画しています。子どもたちと顔見知りになっていただければ、地域の方は防犯対策や災害時の心強い味方です。また、現役ママパパが作る子育て情報サイト「こそだてカン」の企画、制作、運営も行っています。徳島市内の子育てに関する施設情報の提供や、子育ての悩みに答えています。

### これからのビジョン

私たちが子どもだった頃は、親だけでなくご近所さんから思いやりの心やモラルなど大切なことを教えてもらいました。知っているご近所さんがたくさんいたからこそ、子どもだけで外へ遊びにも行くことができました。あの頃のように、お母さんが頑張るすぎなくてもよい、もっと地域に甘えられる関係を取り戻したいと思います。そして、子育て支援の次は、「こどもザカラ」を育てる子ども支援が必要です。地域の方の見守りの中、子どもたちが自分の責任で自由に遊ぶ東京世田谷区の「プレーパーク」事業のような子どもの居場所づくりが夢です。そして、これが、地域の方の生きがい作りにもなればよいと思います。(佐藤 南海・島田 陽子)



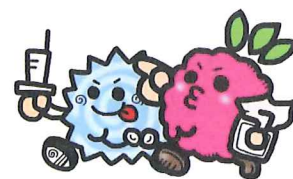
理事長  
こばし ちあき  
小橋 千映さん



### NPO法人 フェロシップ77

設立年月日 / 2014年5月26日  
MAIL : mail@fellowship77.com  
フェイスブック : <https://www.facebook.com/fellowship77>  
「こそだてカン」ホームページ <http://kosodate-can.net>

### 徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人  
徳島県医師会  
会長 川島 周  
【仮事務所】徳島市住吉4丁目11-10  
TEL 088-622-0264

CLEANUP 吉野川をきれいに!  
参加団体、募集中。

吉野川交流推進会議  
〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地  
徳島県民サービスセンター内  
TEL 088-621-2743  
FAX 088-621-2822  
E-mail office@yoshinogawa.org  
<http://www.yoshinogawa.org/>

## とくしま県民活動プラザ

●プラザは、ボランティア・NPO・地域づくりなど、県民の皆さんの自主的、自立的活動を総合的に支援する拠点として平成14年にオープンしました。運営は(認定特非)とくしま県民活動プラザと(社福)徳島県社会福祉協議会・とくしまボランティア推進センターが協力して行っています。

●プラザ開館時間  
開館時間:10:00~18:00  
【研修室利用時間】  
火曜日~土曜日:10:00~21:00  
日・祝日:10:00~18:00  
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始



### 公共交通機関をご利用の場合

JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、  
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリナーミナル」下車すぐ  
・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

### 編集後記

「まち・ひと・しごと創生」という言葉がいろんな場所で聞かれます。田舎でも都会と同じように次世代の子どもたちの学びの場所を充実するために、NPO団体や行政関係の方の協力体制が必要だと思います。プラザでの5か月間で、子どもたちのイベント等でいろんな団体さんとお会いしてお話を聞き、改めてその重要性を感じました。

(広岡早紀子)



# 地域生活支援と私



社会福祉法人有誠福祉会  
障害者支援施設 有誠園

施設長 川島 成太  
かわしま まさとし

私は福祉専門職として勉学に励みその道を当初から志していた訳ではありませんが、紆余曲折あり当法人にお世話になり最初に与えられた役割は「障害者生活支援センター」の業務でした。前述のように福祉の道を歩んでいなかった私には、不思議発見の日々で、何もかもが真新しいことばかりでした。

しかしそんな私も仕事を通じて、利用者や家族の方、様々な関係機関の方々と出会うことで、この仕事の意味や福祉のあり方を考えるようになっていきました。

日々地域で相談支援を続ける中で、障がい者といってもその障がいの程度・状況でニーズや要望は様々で、本当にたくさん知ってほしいがあるんだというのを知りました。そして住み慣れた地域で暮らし続けたいという思い、それを少しでも叶えていく為にはどうすればいいのか、そんなこともよく考えるようになりました。



地域の小学生と人権・車いす学習の様子

福祉Ⅱ制度（フォーマル）だけで考えていた中に、地域で暮らしでいる方が地域で暮らしやすくなるや安心を実現できないだろうかという考えが生まれました。その後、地域の中高校生や行政・関係機関・障がい者の方を巻き込んでのバリアフリーガイドマップ作成や、地域の方に講師になってもらい、知的障がい者の方も巻き込んでの料理教室、趣味の拡大に向けての刺

繍教室、障がい者にとって希望の箱とも言えるパソコン講座など様々なインフォーマル支援に努めました。現在でも小・中学校で車いす体験学習や交流学習の実施、また当該施設利用者が地域の人権学習講師を担ったり、合同川柳会を開いたりと多様になりました。こういった活動で地域の方も理解が深まり、繋がりと絆も増えました。そして双方に多くの笑顔が溢れ、それを見るたびに温かくなりました。

障がい者であろうと健常者であろうと、人間誰もが「幸せに生きたい」と願っていると思います。それは「みんなが主体者である」からではないだろうかと思えます。「障がいのある人もない人も、当たり前で生きる」為にはまだまだ不足がいろいろあります。だから、今の自分にできる事をするのが大事なことだと思います。地域支援は、その思いを胸に地域を巻き込む事がとても大切だと思います。



地域の方との合同川柳句会

支援者として我々が出来る事は何か、それを実践していくために必要なことは何か、どうすれば実現可能になるのか。常に自分達への問いかけと、考えることをやめない事が、いつでもはじめの一步に繋がっていくことを忘れずにこれからも支援を続けていきたいと思えます。

## 地域のささえあい担い手養成講座

県内市町村社会福祉協議会ととくしま住民参加型在宅福祉サービス団体連絡会との共催により、県内9市町村で「地域のささえあい担い手養成講座」を開催しました。地域のささえあい活動を実践している方やこれから地域のささえあい活動に取り組みたいと考えている方々に参加いただき、介護に係わる



問題や災害時の対応等についての活動事例報告や講演を行いました。

講座では、実際に活動されている団体の事例発表や、「自分は地域で何を出来るか」についてグループワークを行いました。「自分にできることがまだまだあるように感じた」「自分に何が出来るか考えることができた」等の感想を、参加者の方からいただき、地域におけるささえあい活動の担い手養成となったのではと考えております。



- 預託** ●富士産業株式会社様より、県内市町村社会福祉協議会等へ、平成28年度壁掛けカレンダーのご寄贈 ●一般社団法人生命保険協会徳島県協会様・徳島県に働く生保の仲間様より、つるぎ町社会福祉協議会へ福祉巡回車1台のご寄贈 ●公益社団法人生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会徳島県協会様より、那賀町社会福祉協議会へ福祉巡回車1台のご寄贈、県内社会福祉施設8ヶ所へリクライニング車椅子8台のご寄贈 ●明治大学校友会徳島県支部様より、県内社会福祉関係団体等へ、第32回明治大学マンドリン倶楽部チャリティ演奏会へのご招待 ●一般社団法人生命保険協会徳島県協会様より、あおぞら、NPO法人太鼓の楽校へ活動資金のご寄付 ●公益財団法人徳島県生活衛生営業指導センター様より、社会福祉法人白寿会へメイクのご提供、障がい者支援施設あわせの里へ散髪のご提供 ●四研究会様より、特別養護老人ホームコンフォール貞光へ車椅子2台のご寄贈 ●認定特定非営利活動法人とくしま県民活動プラザ様より、県内児童養護施設へ、子どもが生き生きとはたらくまち「ぶらざタウン」へのご招待 ●株式会社マルナカ徳島店様より、県内市町村社会福祉協議会へ日用品等のご寄付 ●アレクサンダー大塚様、有限会社フクタクレコード代表取締役福田典彦様より、県内児童養護施設・児童自立支援施設へアレクサンダー大塚20周年記念大会へのご招待
- 寄付** ●トクシマフィットネスラボ様

ありがとうございます

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

## ボランティア活動保険

平成28年度

全国200万人加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

補償金額 (保険金額)		年間保険料 (1名あたり)	
保険金の種類	プラン	タイプ	プラン
	Aプラン	Aプラン	Bプラン
ケガの補償	死亡保険金	1,200万円	1,800万円
	後遺障害保険金	1,200万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)
	入院保険金日額	6,500円	10,000円
	手術保険金	入院中の手術 65,000円 外来の手術 32,500円	100,000円 50,000円
	通院保険金日額	4,000円	6,000円
	特定感染症の補償	上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ	
賠償責任	葬祭費用保険金 (特定感染症)	300万円 (限度額)	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円 (限度額)	

年間保険料 (1名あたり)	
タイプ	プラン
	Aプラン
基本タイプ	300円
天災タイプ(※) (基本タイプ+地震・噴火・津波)	430円

(※)天災タイプでは、天災(地震、噴火または津波)に起因する被保険者自身のケガを補償しますが(天災危険担保特約条項)、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。



保険金をお支払いする主な例

- ボランティア行事用保険** (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)
- 送迎サービス補償** (傷害保険)
- 福祉サービス総合補償** (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**  
 取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**  
 〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763  
 営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます)  
 この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(S)JNK15-17042 2016.02.18 作成

これからも、いつまでも  
頼りがいのある銀行として、  
地域のみならずとも歩んでまいります。

ずっと、ここから。120

**阿波銀行**  
<http://www.awabank.co.jp/>

環境にやさしい銀行を目指し  
環境保全活動に取り組んでいます。

**徳島銀行**  
<http://www.tokugin.co.jp>





利用される方々同士が買い物道の道中で話し、笑い、自ら選んだ商品を購入することは、いきいきとした生活を取り戻すことにもなり、顔の見える関係が広がることで、町内の方々や社会資源との関係性が保たれ、地域の活性化へとつながります。

この「福祉移送事業」を実施することにより、地域で潜在化する生活・福祉課題を発見し、地域の方々の5年後、10年後の生活状況を想定した新たな生活支援サービスの開発にも活かすことができると考えています。

勝浦町は中山間地域でかつ高齢化が進行していることから、町内店舗の閉店等が進み、交通手段が少ないことも相まって、自宅にこもりがちが高齢者等が増えつつあります。このため、買い物等の外出・移動支援の実施が喫緊の課題となっています。

このような状況の中、移送サービス実施のための準備委員会を行政や民生委員・児童委員、社会福祉法人、地域包括支援センター、老人クラブ連合会等と立ち上げ、運行に関する制度や利用料金の設定、対象者などあらゆる角度から検証し、地元の商工会議所やタクシー事業所等と調整を重ねました。

また、全国で在宅福祉サービスの発展に向けた車両の寄贈を実施している中外製薬株式会社からリフト車両の寄贈をいただき、平成27年11月より、「福祉移送事業」として、週2回、自宅から勝浦町内の商店や銀行等の無料運行を始めることができました。



5年後、10年後を見据えた移送サービス

社協の実践

ともいえる豊かな福祉社会を目指して

社会保障・福祉政策の大きな転換期



徳島県社会福祉協議会（以下県社協）では「社会福祉法人セミナー・市町村社協会長会議」を開催し、社会福祉改正法案への理解を深めるとともに、社会福祉法人の持つ特性や専門性を活かしながら、地域の福祉ニーズに対応した社会福祉法人間の連携・協働によって横断的に支援活動が展開できる仕組みづくりを進めるための情報・課題を共有することができました。

民生委員にご協力いただいたアンケート調査からは、社会福祉法人に期待する取り組み内容が明らかになるとともに、多くの地域で解決に結びついていない課題を抱える

社会福祉法人制度改革

経営組織のガバナンスの強化 議決機関としての評議員会を必置、一定規模以上の法人への会計監査人の導入 等	事業運営の透明性の向上 財務諸表・現況報告書・役員報酬基準等の公表に係る規定の整備 等	財務規律の強化 役員報酬基準の作成と公表、役員等関係者への特別の利益供与の禁止 等	地域における公益的な取組を実施する責務 社会福祉事業及び公益事業を行うに当たって、無料又は低額な料金で福祉サービスを提供	行政の関与の在り方 所轄庁による指導監督の機能強化、国・都道府県・市の連携 等
--------------------------------------------------------	------------------------------------------------	----------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------	--------------------------------------------

る住民の存在が明らかになり、回答した民生委員の約40%が地域の課題解決に際して社会福祉法人の協力を得て取り組みたいと回答されました。

このような状況を踏まえ、社会福祉法人・福祉施設と社会福祉協議会がそれぞれの役割を果たしながら、地域の様々な組織や個人が分野を越えて協働し、複雑・多岐にわたる地域福祉の課題を総合的に受け止め、解決を目指す姿を地域住民に明確に示していきけるよう、施設や社協による先駆的な実践事例を取り上げました。

オールかながわで取り組む社会福祉法人の地域協働のしくみについて、かながわライフサポート事業推進委員会浦野正男委員長からは、民間社会福祉関係者が枠を越えて地域住民も含めた支援のしくみについて、滋賀県社会福祉協議会滋賀の縁創造実践センター谷口郁美所長からは、社会福祉法人改革の中で社会福祉法人（施設・社協）が地域の福祉課題に因應するために果たすべき役割について、また全国社会福祉協議会他地域福祉部佐野学部長による鼎談で、取り組みの必要性について、本県の福祉関係者に提起いただきました。



木頭地区での避難所訓練の様子

県総面積の約17%を占める那賀町では、過疎化の影響等により住民の日常生活圏の広域化が目立ち、住民同士の支え合いや各関係機関との協力体制の構築に向けた取り組みが重要性を増しています。

生活支援・介護予防サービスの総合的・包括的な充実に向け、平成27年3月から開始した木沢地区住民の通院手段を確保する過疎地有償運送事業（ボランティアタクシー）や、毎月発行する広報誌等の各事業と併行し、今年度は那賀町内の各地区にて「那賀町ボランティアのつどい」を開催しました。

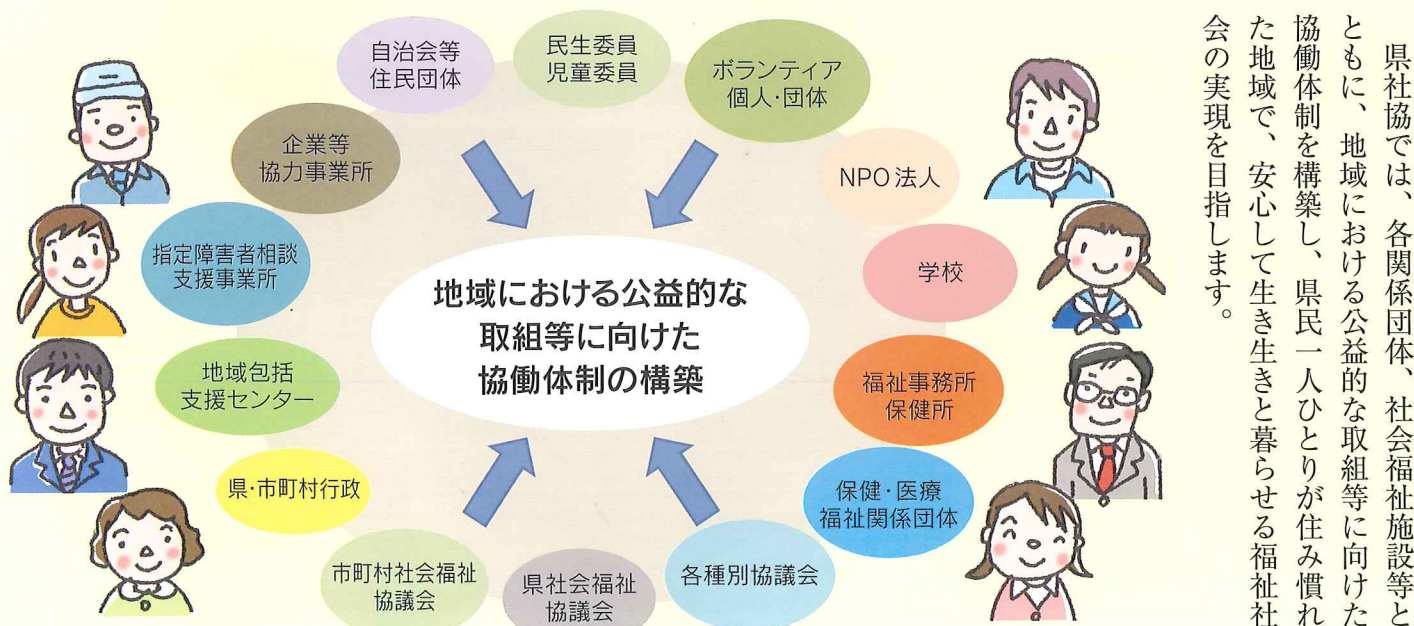
驚敷地区は、平成26年8月豪雨災害の経験を生かすため、被災者と支援者による発表・意見交換等を行い、木頭地区は、道路の寸断や家屋倒壊等を想定した避難所訓練、相生地区は、災害時における認知症サポート体制の推進に向けた研修、上那賀地区では認知症予防の調理・試食をはじめ、地域のささえあい担い手養成講座を開催しました。木沢地区では、平成28年度から那賀町健康福祉課が実施主体となり、協働団体や協力事業所等とともに高齢者や障がい者、子どもたち等に目を配る「見守りネットワーク」が始まることを踏まえ、その実践に向けた模擬演習を含む認知症サポート研修を予定しています。

今後とも広域的な課題に対し、積極的に地域福祉活動を展開していきたいと考えます。



相生地区での認知症サポート研修の様子

広域支援の充実に取り組む



県社協では、各関係団体、社会福祉施設等とともに、地域における公益的な取組等に向けた協働体制を構築し、県民一人ひとりが住み慣れた地域で、安心して生き生きと暮らせる福祉社会の実現を目指します。